

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.62)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業によりPCB廃棄物処理を継続しており、5月の処理実績は下表のとおりです。

5月は、2日に春期定期点検を終え、安全を確認しながら各設備を順次立ち上げていき、7日からPCB処理を再開しました。

操業状況の紹介として、大型トランス(約6.5トン)が運搬車両から荷下ろされ、受入保管エリアに搬入されるまでの様子を掲載しました。

今後も安全第一にPCB廃棄物の処理を進めてまいります。

平成21年5月の操業実績

種 別		受入台数	抜油・解体台数
コンデンサ類		348 台	356 台
ト ラ ン ス 類	大 型	3 台	3 台
	小 型	19 台	17 台
	車 載 型	2 台	2 台
廃PCB等		8 個	8 個

※ 受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



【写真上】  
大型トランスを積載した  
収集運搬車の受入



【写真中】  
養生シートを外した状態



【写真下】大型トランスを受入保管エリアに搬入

## 2. PCB廃棄物の6月の受入計画

平成21年6月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		415 台
ト ラ ン ス 類	大 型	4 台
	小 型	21 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等		4 個

6月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)を中心に、豊田市内から38台、愛知県内から363台、岐阜県内から14台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から22台、三重県内から3台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。

また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から4個を受け入れる予定です。

## 3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について



説明会の様子

弊社では、PCB廃棄物の少量保管事業者の方々を対象に、順次『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

5月は三重県を会場に、20日に三重郡川越町及び朝日町の方々、21日にいなべ市と員弁郡東員町及び三重郡菟野町の方々を対象にそれぞれ説明会を実施し、弊社から平成21年10～12月の重点搬入期間に向けて、受入予定時期、契約手続き、少量保管事業者間の積み合わせ運搬委託等の説明を行いました。

ご多忙にもかかわらず、20日には14社、21日には16社、計30社の保管事業者の方々にご出席いただきました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。

## 4. 安全に対する取り組み

### (1) 安全セミナーの実施

豊田施設には様々な設備が設置されており、各々の設備の機能や使用時の注意事項等を知っておくことが、安全なPCB処理を行うための基礎となります。

そのため、弊社では社員等が講師となって計画的に安全セミナーを実施しており、5月22日と6月1日に以下のとおりセミナーを実施しました(1日2回、計4回実施)。

- ① 豊田施設内に設置されている消防設備について
  - ・ 消火栓、消火器、粉末消火設備、火災報知器等、それぞれの機能と役割等を解説。
- ② 電気事故の防止について
  - ・ 他社の感電事故を事例紹介し、その原因を解説。
  - ・ ケーブル・コードの被覆破れはないか確認すること、濡れた手で電気設備を触れないこと、作業場は常に整理整頓すること等、電気使用時の安全確認等を解説。

安全は日頃の積み重ねで築き上げ、維持していくものですので、これからも社員への教育を継続して実施いたします。



安全セミナーの様子

### (2) 安全の日と安全パトロールの実施

豊田施設では毎月21日を『安全の日』と定め、所長から社員への訓辞、安全パトロール等を行っています。5月は①安全は全てに優先すること、②日頃から「報告・連絡・相談」をできるだけ迅速に行うこと、等の訓辞を行いました。

訓辞後には、処理エリア内がきちんと整理整頓されているか、ゴミや工具類等が散乱していないか等をテーマにパトロールを実施しました。

パトロール中に改善点等が見つかった場合にはすぐに対応し、施設内の安全確保に努めています。



安全パトロールの様子  
(解体エリア(遮蔽フード内)の現状を目視確認)

## 5. 環境モニタリング調査等の実施について

豊田施設では、豊田市と弊社の間で締結している『豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書』に基づき、PCB廃棄物処理事業の実施により周辺の生活環境に影響を与えていないかを確認するため、定期的に環境モニタリング調査等を実施しています。

この調査は、豊田施設内で実施しているPCBのオンラインモニタリング(常時測定・監視)とは別に、外部の測定機関に委託して実施しており、5月は18日から22日にかけて①周辺環境(大気、地下水)、②施設からの排気及び排水について調査を行いました。

調査結果の詳細については今後弊社ホームページで公表する予定です。なお、過去の環境モニタリング等の結果は下記のアドレスで公表していますのでご参照ください。

【環境モニタリング等に関するアドレス】

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/environment/monitoring.html>



【写真左】  
周辺環境(大気)の測定  
(ハイボリュームエアサンプラー)

【写真右】  
施設からの排水を採取

### 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>